

満100歳をお祝い!

玉手みよしさんに松竹梅敬老祝金

1月4日に満100歳の誕生日を迎えた玉手みよしさん（白川犬卒都婆）宅を風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金100万円を贈り、長寿を家族の皆さんとともに祝福しました。



みよしさんは白川津田のご出身で、9人の子どもさんをもうけられ、家業だった農業と子育てに奮闘の日々を送られました。また、1月7日には週2回通っている「デイサービスセンターしろいし」でもお祝いの会が催され、多くの人たちからの祝福に、感無量のご様子でした。

暁がゆで、無病息災!

第3回冬の検断屋敷まつり

材木岩公園内の検断屋敷で1月15日、今回で3回目となる冬の検断屋敷まつりが開催されました。

まつりでは、参加した子どもたちによるだんご刺しが行われたほか、全員に暁がゆが振る舞われ、正月の味を楽しみました。



このほか、風船に年頭のメッセージを書いた短冊を付けて空に放ったり、雪玉を得点ボードに投げ、合計得点を競う「雪玉投げ競争」が行われ、会場からはいつまでも笑い声が絶えませんでした。

伝統の技を学びました

小原小中学生がしめ縄づくりを体験

12月18日、材木岩公園内の検断屋敷で小原小・中学校の児童・生徒20名が昔ながらのしめ縄づくりやもちつきを体験しました。



この催しは、地元の小中学生に昔ながらのお正月を知ってもらおうと実施されたものです。地元の講師の指導の下、子供たちは慣れない手つきでしめ縄をなったり、きねを使ったもちつきを行いました。出来上がったもちはその場でお雑煮などにして振る舞われ、子供たちはおいしそうに出来たての味を楽しんでいました。

伝統行事を子どもたちへ伝えたい!

北保育園で「だんごさし」

北保育園で1月11日、小正月の伝統行事「だんごさし」が開催され、園児61人が小さな手で一生懸命だんご刺しに挑戦しました。



北保育園では、子どもたちに伝統行事を知ってもらおうと、13年ほど前からこの「だんごさし」を恒例行事として開催しています。この日は、園児たちのおじいちゃん、おばあちゃんたちにもお手伝いをいただき、赤、緑、黄の3色のだんごを作り、ミズキの木に縁起物と一緒に次々に飾り付けていきました。

患者さんなどに美声を披露

第8回公立刈田綜合病院ロビーコンサート

公立刈田綜合病院で12月16日、第8回目となるロビーコンサートが開催されました。

今回コンサートを行ったのは、ひかり幼稚園のPTAでつくる「びーんず合唱隊」の皆さん。「誕生と出会い」とテーマに、「アメージンググレース」「言葉にできない」といった曲を時折振り付けを交えながら熱唱しました。コンサート会場の病院中央ロビーにはたくさんの患者さんなどが詰めかけ、調和のとれた美しい歌声に聴き入っていました。



クリスマスに花を添えました

児童特製クリスマスリースが中町を装飾

12月17日、第一児童館に通う児童12名が、中町の商店街でクリスマスリースを飾り付けました。



このクリスマスリースは、11月に子どもたちが木の枝やリボンなどを使って思い思いに製作したもので、中町親商会の皆さんのお手伝いをいただきながら、自分の作ったクリスマスリースを一つずつ大事に飾り付けていきました。

このクリスマスリースは12月29日まで飾り付けられ、まちゆく人々の目を楽しませていました。

地元の福祉施設で交流活動

南町の皆さんがやまぶき園で交流会を開催

南町の福祉作業所やまぶき園で12月9日、地元自治会員でつくるボランティアみなみの会の皆さんと園利用者の交流会が行われました。



今年で9回目を迎えた交流会には、岩山育也会長や小関俊夫南町自治会長など、同会のメンバー17人が参加。ゲームや歌などで園利用者と楽しい一時を過ごしました。

終始和やかな雰囲気にもまれた会場では、クリスマスプレゼントのお楽しみ抽選なども行われ、いつまでも笑い声が絶えませんでした。

一人でも多くの命を救うために

市民が仙南広域消防本部にAEDを寄付

12月15日、白石消防署でしろがね産科婦人科クリニック院長・佐々木隆之さんから仙南地域広域行政事務組合消防本部への自動体外式除細動器（通称AED）3台の寄贈式が行われました。



佐々木さんは救命救急の現場に立ち会う中でこの寄付を思い立ったとこのことで、「このAEDが一人でも多くの命を救うことを期待します。」と語っていました。寄付されたAEDは白石消防署管内のポンプ車などに早速配備される予定とのことです。

みなさん、こんにちは。
就任一年がたち、今月号より広報しろいしに、自分の思っていること、感じたこと、そして体感したことを書くコーナーができました。そのコーナーの名前は、職員が発案により「市長の名前が風間だから、風のささやきがよいのではないだろうか?」という案を取り入れ、「風のささやき」とさせていただきました。

本年、平成18年丙戌（ひのえね）の年が健康にかにそして穏やかに明けましたことを、皆様方に感謝申し上げます。私自身も正月は、何れ所かのあいさつはありましたが、どちらかというと夜は家でのんびりと過ごさせていただきました。

その中で、テレビで「里見八犬伝」という二日にわたつてのドラマを見た。私が「里見八犬伝」と出会ったのは小学校のころ、NHKの連続人形劇で見たのが最初ではなからうかと思えます。仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌、また、それぞれの犬士の名前、お姫マを見ました。私が「里見八犬伝」と出会ったのは小学校のころ、NHKの連続人形劇で見たのが最初ではなからうかと思えます。仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌、また、それぞれの犬士の名前、お姫マを見ました。



私は必ずそのような「犬士」がいると信じておりますし、同じ夢を同じ思いで成し遂げることができる仲間がいると信じております。夢は一人で見ても夢のままで終わりますが、二人三人と同じ夢を見れば、それは実現に向かいます。白石を今以上に光らせるため、力を合わせて「共に」の精神で、平成18年も大いに飛躍していきたいなと思っておるところでございます。

風間市長の「虫のナニヤキ」 「白石八犬伝」